



佐藤 良行 議員

## 木曾川左岸の治水対策等、 市民の安心・安全対策状況は

### 問

次の安心・安全対策について尋ねる。

- (1) 木曾川左岸の治水対策について①五明地先の高水敷の完成予定②第2期工事のスーパード防の着工見通し③木曾岬町から実施されるスーパード防の小島地先までの完成予定。
- (2) 市全体の一人当たりの緑化は何㎡か。
- (3) (仮称)境排水機場新設は、計画では着工すべき時期ではないか。
- (4) 鍋田排水機場は耐用年数を超えていると聞く。更新すべきではないか。
- (5) 太陽光発電および太陽熱温水器を、市公共施設に導入する考えはないか。
- (6) 市有車へのハイブリッド車導入をどう考えるか。
- (7) AEDの導入状況と将来の設置計画は。

次の安心・安全対策について尋ねる。

- (8) 地域防災会の全地域の組織化を、今後2、3年で達成すべきではないか。
- (9) スクールガードの学校別の登録人数と、下校時間等の連絡方法は。

## 高潮堤の早期完成を 国に要望していく

### 答 開発部長

(1) 五明地区は国の19年度補正予算にて約300mの護岸および環境整備が実施され、残り300m区間になった。

同地区は計画原案に整備予定地と位置付けられているが、予算計画のめどが立っていないと聞いている。高潮堤整備は厳しい財政状況の中、予算確保に努力する

と国から回答があった。

市も関係機関に陳情等を行っており、早期整備完了を国へ強く要望していく。

(2) 国の整備水準目標は一人当たり20㎡で、市は27・99㎡(都市計画決定されていない公園を参入。19年11月現在)で、鍋田、十四山地区を除くと4・33㎡である。

地域格差を解消すべく、都市計画マスタープランを策定後、緑のマスタープランを策定し、民有地の緑の保全や都市の緑化を総合的かつ体系的に推進していきたい。

### 答 市長

(3) 漁業補償の問題等で非常に難航している状況である。県を通して交渉を継続していきたい。

(4) 老朽化や耐用年数がたってきたことを、同時に並行的に考えていきたい。(5) 今後は公共事業の中で導入する機会があれば、積極的に考えていきたい。(6) 今後、新規購入で低公

害車や低燃費車を検討していきたい。20年度の買い替えはハイブリッド車を描いていきたい。

### 答 健康推進課長

(7) 7公共施設と3中学校に、合計10基を設置している。

今後は公共施設を管理する関係課とも協議しながら進めていきたい。

### 答 防災安全課長

(8) 12月10日現在26地区で、目標として25年に100%を目指す。職員が地区に出掛け、早めに立ち上がるよう説明等に行く。

### 答 教育課長

(9) 弥生23、桜95、大藤35、栄南17、白鳥12、十四山東部22、十四山西部小11人である。

曜日で下校時間が決まっております、時間割表により知らせてある。

緊急時の対応(下校時間変更連絡)は取り組んでいない。先生の付き添いやメールによる保護者の迎え等で、安全を図っていききたい。